

KOUNAN SMILE

vol.92

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2024.5

★歓迎会★
5月25日18:30～
磯の匠
幹事：フィンダー
チーム

◆4月22日 工場見学◆ 松山市・さくら児童クラブのみなさん

1月に開催された教育サポート企業フェスタで、愛媛県内の小中高の先生100名の前で社長がプレゼン。それを聞いた先生から早速オファーがあり、振替休日を使って松山市からわざわざバスで来てくれました！ 四国中央市の魅力、紙産業の魅力を、いろんな角度からお伝えしました



ヒートシール体験

第2回 江南ラミネート紙飛行機大会



工場見学



ランチタイムはリフレッシュルームで♪



飛距離測定中

『第2回江南ラミネート紙飛行機大会』を開催！
自分の好きな紙（ラミネート紙）を使って、自分の好きな折り方で一番よく飛ぶ紙飛行機を試行錯誤しながら作りました！ 見事1位は++11m40cm++おめでとうございます！

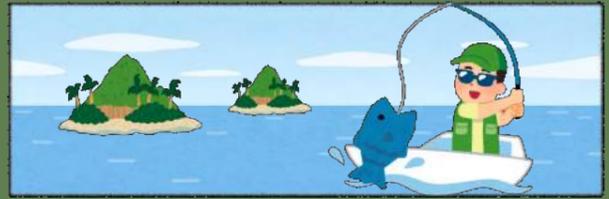
江南ラミネートの後は大王製紙さんの工場見学へ！



MY FAVORITE is...

三宅英幸 釣り

年間4回の釣りクラブの大会が楽しみです。今まで色々な釣りをやってきて今はタイラバが一番面白いです。タイラバを変えたりネクタイを変えたり釣れない時に色々試して釣れた一匹は感動します。個人でも年間何回か釣りに行きます。釣れても釣れなくてもとっても楽しいです。これから暖かくなるので楽しみです。



MY FAVORITE is...

戸田祐太郎 防災グッズ

前までは車をカスタムすることが趣味でしたが、今は防災グッズ集めにハマっています。今一番欲しいものは、モバイルバッテリーです。停電しても少しの間電気を使うことが出来るので地震がくるまでに買いたと思います。オススメの防災グッズがあれば教えてください。



4月25日 WEBマーケティング定例会

年度末セールで実施したポリクロロス紙5%OFFセール。その効果検証を行いました。いろんな方法で情報発信したこともあり反響も多く、過去の顧客の掘り起こしにもつながりました。結果が出ると嬉しいですね♪これからも新しいことに取り組んでいます！



ヒノキのオーダーメイドボード(株)サクラ シノコウさんで作っていただきました。応接室とトイレでお迎え致します^^



ヒノキのかおりがイイですよ♪

子ども食堂お手伝い

4月20日川之江ふれあい交流センターで子ども食堂があかさのお手伝いに。内田さんデビューにも関わらずキビキビ動いていました！



いただきまーす！

4月27日 江南釣りクラブ IN 高知

天候も良くなく慣れない水深に苦戦しながらもカラフルな魚をGET!ウツボが釣れた時は船上大騒ぎ(笑)



海のキャンク 高知名産ウツボGET~!!

育休復帰おかえり~

育休(2回目)から復帰した片岡さん。おかえりなさい^^ 新入社員研修を終えた内田さんのお疲れ会も兼ねて食事会しました。ジビエ料理も最高でした！



5/2 坂ダイニングさんにて

CMソングできました！

F M愛媛さん、イーエーシーさん(代理店)とともに作ったラジオコマーシャルソング。FM愛媛で放送中です♪若手社員も声出演してます(笑) カッコイイメロディーで耳に残ります(笑) ぜひ聴いてみてください！



HAPPY 社長52th BIRTHDAY!

ケーキと誕生日ソング♪でお祝いしました^^



カシ社長がゆく」の巻

江南ラミネートの本業は、紙加工・ラミネート加工です。日々より良い製品づくりに励んでいます。そしてこんな会社になりたいというグランドデザインは「紙産業の魅力を発信し、故郷を誇れる人を増やし、地域の発展に貢献する」と掲げ日々努力しています。「なぜ紙加工の会社がそんなに地域貢献にこだわるのですか？」と時々質問されます。社員のみなさんからもそんな視線を感じることもありますが、事業の観点から見れば、紙産業が継続的に発展したり四国中央市が活性化していけば、地域で仕事が巡り江南ラミネートの経営も安定していきま。でもそれだけに留まるような狭い範囲の活動だとは思っていません。地域貢献の活動をしていくことは、もっと広くもっと大きな影響をもたらすことができると世の中を良くしていくものだと私は思っています。

島高校や川之江高校の工場見学や金生川ラバーズの小学校への出前授業など。このような小中高の子どもたちとの時間に大きな可能性があると私は考えています。みなさん、そう思いませんか？ 私の大好きな喜多川泰さんはこう言っています。

『このままじゃ世の中はダメになる。でも自分にはそれをする力がない』その価値観のままでは、何年経っても、何十年経っても、世の中を変える力は身につかない。最初から自分のできることを探していけないわけですから。ちょっと厳しい言い方をすれば、最初から「それをするのは自分の責任じゃない」と思っているということすらできると思う。でも、自分にできることを探してみればたくさんある。

定職に就き、故郷に定住し50歳を過ぎた私のような人間がこれからの人生で新しく出会う人の数は限られているかもしれないけれど、十代の子どもたちがこれからの人生で出会う人の数は計り知れません。その一人ひとりがそれぞれの人生でより良い価値観や人生観を与え合っていくけば世の中がより良くなっていく大きな可能性があると私は思います。だから、私は子どもたちに話をするときには、会社の紹介だけでなく、私が生きてきた中で大切に思っていることも話の中に盛り込んで伝えようと努力しています。

毎回の江南ラミネートの活動で子どもたちと関わる時間はほんの1〜2時間だけです。そんな短い時間の中でも彼らの心の中に強く印象に残りよい影響を与えることができるような大人でありつづけるため、日々自分を磨いていきたいと思っています。

克晴